

第 **43** 期

第 2 四半期事業報告書

平成23年 4 月 1 日から

平成23年 9 月30日まで

株式会社 **桑山**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第43期上半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における事業概況を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

わが国経済は、東日本大震災からの復旧の動きの中で持ち直しているものの、下振れリスクも懸念され予断を許さない状況が続いております。また宝飾業界におきましても、一部に回復の兆しも見えますが消費者の買い控え傾向は根強く、依然として厳しい情勢です。

当社グループでは、現在の厳しい市場環境をシェア拡大の好機と捉え、昨年までの設備投資に加え、今期では営業部門を強化して国内事業拡充の礎を築きました。また海外向け事業では長期化する円高への布石として、海外営業拠点からの海外市場開拓を強化し、さらに海外の製造拠点にも営業部門を新設して販売体制を拡充し、外部環境変化に機動的に対処できる組織の構築を進めております。

今後も国内外に展開する当社グループの強みを生かして事業の着実な発展を目指して努力を重ねる所存です。株主の皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

桑山貴洋

事業の概況

事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧の動きの中で持ち直しているものの、欧州での金融不安とこれを背景とする円高の長期化、デフレや雇用情勢への不安から先行きの見えない状況が続いております。

当業界におきましても、震災の影響による落込みは小売段階では小幅でしたが、先行き不安から小売企業の在庫仕入が見合わされ、製造・卸段階では大幅な受注減となりました。また8月には欧州での金融不安に起因する貴金属相場の急騰から相場への警戒感が広がり、商盛期に向けての商談を滞らせる結果となり大変厳しい市場環境が続きました。

当社グループにおきましても、震災後の市場変化や貴金属地金の相場変動の影響から、素材価値志向の地金製品の受注が急増する一方、付加価値製品の受注が減少する変化が生じ、これに対応する製造体制への急速なシフトから、工場では一時的な生産効率の低下を余儀なくされました。また海外向け販売におきましても歴史的な円高から利益が圧迫され利益率の低下を招きました。これらの要因から前年比での利益高は減少致しましたが、計画比では想定内の変動に収まり連結業績予想を上回る結果となりました。

一方、長期化が予想される円高への今後の対応策として海外拠点からの海外市場開拓に注力し、タイの製造子会社クリスティー・ジェムカンパニーに新たに営業部門を設置し、アジア市場での営業活動の機動性を高め、既に進行中のベルギー販売子会社クワヤマ・ヨーロッパからの中国向けダイヤモンド販売と併せて海外向け営業活動を拡充しました。さらに国内営業におきましてもシェア拡大の好機との認識から、営業部門の人員増強を行い今後の安定拡大の礎を築きました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は135億84百万円（前年同期比18.5%増）となり、営業利益は2億97百万円（前年同期比53.0%減）となり、経常利益は2億53百万円（前年同期比44.4%減）、四半期純利益は1億84百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

対処すべき課題

当社グループを取り巻く今後の事業環境に関しましては、わが国経済の緩やかな持ち直しが期待されるものの、海外情勢に起因する景気の下振れリスクやデフレの影響、雇用環境の悪化懸念など、予断を許さない情勢が続くと見られます。国内宝飾市場におきましても先行きの不透明感からの消費者の買い控えが続くものと思われ、引き続き厳しい状況が見込まれます。また貴金属地金相場につきましても海外経済・金融への懸念を反映して実需と乖離した変動が続いており、相場騰落に対する警戒感からの受注の停滞、利益の圧迫リスクに注意が必要です。さらに海外市場におきましても円高の長期化が見込まれ、日本からの製品輸出には競争力・収益性の低下が避けられない状況です。

こうした情勢のもと当社グループでは、営業部隊の増強により国内宝飾市場では一層のシェア拡大を続け、またグループ各社の特色を生かした新規市場の開拓を進めてまいります。さらに海外市場に対しては円高の長期化に対応して、海外販売拠点からの営業活動の拡大と、加えて海外製造拠点への販売部門の拡充など、外部環境変化に対して迅速に対応できる製造・販売体制を構築してまいります。併せて厳しい市場環境下での与信管理にも充分配慮し、貴金属地金相場の変動リスクに関しても引き続きヘッジに留意してまいります。また生産活動におきましても生産効率、品質の向上に弛まず努力を続けてまいります。大変厳しい市場環境ではありますが国内外の製造拠点、販売拠点、子会社のそれぞれの強みを生かし、グループのシナジーを発揮することで事業の確実な発展に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	前第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金及び預金		2,732,995	3,719,216
受取手形及び売掛金		3,939,582	3,264,327
たな卸資産		9,214,528	9,563,403
その他		382,803	399,376
貸倒引当金		△ 21,536	△ 18,587
流動資産合計		16,248,374	16,927,736
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建物		1,161,695	1,238,935
土地		5,106,183	5,109,756
その他		445,692	478,261
有形固定資産合計		6,713,571	6,826,953
無 形 固 定 資 産			
のれん		85,599	117,401
その他		786,620	853,613
無形固定資産合計		872,220	971,015
投 資 そ の 他 の 資 産			
投資有価証券		966,383	1,016,481
その他		2,169,434	1,316,871
貸倒引当金		△ 35,430	△ 34,178
投資その他の資産合計		3,100,388	2,299,174
固定資産合計		10,686,179	10,097,143
資 産 合 計		26,934,553	27,024,879

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期連結会計期間末	前第2四半期連結会計期間末
		(平成23年9月30日現在)	(平成22年9月30日現在)
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金		1,231,336	1,005,189
短期借入金		8,200,000	9,825,000
一年内返済予定長期借入金		927,523	956,245
一年内償還予定社債		45,000	102,000
未払法人税等		88,770	113,977
賞与引当金		75,020	70,720
その他		587,617	289,843
流動負債合計		11,155,266	12,362,975
固定負債			
社債		—	45,000
長期借入金		3,092,024	2,248,947
役員退職慰労引当金		453,449	425,399
その他		104,251	86,907
固定負債合計		3,649,725	2,806,254
負債合計		14,804,992	15,169,230
純資産の部			
株主資本			
資本金		3,013,529	3,013,529
資本剰余金		2,944,389	2,944,369
利益剰余金		6,276,893	6,015,427
自己株式		△ 205,624	△ 206,324
株主資本合計		12,029,187	11,767,001
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金		151,575	122,622
繰延ヘッジ損益		—	984
為替換算調整勘定		△ 51,605	△ 35,337
その他の包括利益累計額合計		99,970	88,269
少数株主持分		404	379
純資産合計		12,129,561	11,855,649
負債・純資産合計		26,934,553	27,024,879

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売 上 高		13,584,061	11,467,541
売 上 原 価		10,729,961	8,638,249
売 上 総 利 益		2,854,100	2,829,292
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,556,701	2,196,164
営 業 利 益		297,399	633,128
営 業 外 収 益		84,502	85,820
営 業 外 費 用		128,346	262,553
経 常 利 益		253,554	456,395
特 別 利 益		3,516	4,089
特 別 損 失		12	230
税金等調整前四半期純利益		257,057	460,254
法人税、住民税及び事業税		66,625	82,397
法人税等調整額		6,216	2,374
差 引		72,842	84,771
少数株主損益調整前四半期純利益		184,215	375,483
少数株主損失(△)		△ 27	△ 51
四 半 期 純 利 益		184,243	375,535

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

役 員

(平成23年9月30日現在)

代表取締役会長	桑 山 征 洋
取締役副会長	相 原 信 雄
代表取締役社長	桑 山 貴 洋
専務取締役	神 永 幸 三
常務取締役	小 林 勇美雄
常勤監査役	内 山 浩 一
監 査 役	窪 田 久 信
監 査 役	松 田 良 行
監 査 役	上 平 光 一

執 行 役 員

(平成23年9月30日現在)

執 行 役 員	大 黒 泰 義
執 行 役 員	原 崎 則 子

会 社 の 概 況

(平成23年 9月30日現在)

設 立	昭和45年 4月14日
資 本 金	3,013,529,087円
発行済株式総数	10,331,546株
株 主 数	1,334名
従 業 員 数	293名 (他にパート社員等75名がおります。)

主要な営業所および工場

- ①本社・営業部 東京都台東区
- ②支店 山梨県甲府市、大阪府大阪市、
福岡県福岡市
- ③工場 富山県魚津市
- ④卸店舗 東京都台東区他合計 3 ヲ所

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金	毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により9月30日現在の株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.kuwayama.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることが出来ないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

MEMO



A series of horizontal dashed lines providing a template for writing a memo.

